

すくすくだより

2020年8月号



夏本番！暑い暑い夏がやってきました。お子さんにとっては水遊びや虫取り、海や花火とお待ちかねの夏でしょうね。沢山日光に当たり、体力を消耗する時期です。規則正しい生活リズムで、睡眠を十分とり元気に夏を楽しみましょう。

夏休み・・・お出かけの予定を立てている方もいるかと思いますが、お出かけの時にありがちな皮膚トラブルをお知らせします。夏風邪や皮膚トラブルを回避して健康的に過ごせるといいですね。



夏に多い皮膚トラブル



伝染性膿痂疹（とびひ）

虫刺されや擦り傷、湿疹など掻きむしった後に黄色ブドウ球菌などが感染して起こる病気。透明な水疱がで、それを掻きむしることで菌がうつってしまいます。主な治療法は抗生物質の使用ですが、衣服を清潔に保つことも大切です。感染してしまう為、患部が乾燥していない場合は、必ずガーゼで覆って登園するようにしましょう。発熱を伴う場合もあります。早めに受診をして感染予防に努めましょう。

伝染性軟属腫（水いぼ）

ウイルスに感染してできるいぼの一種です。接触により直接感染します。硬くて、つやがあり、真ん中がくぼんでいるのが特徴です。水いぼは脇の下、脇腹、股の付け根など皮膚が擦れ合うところによくできます。放っておくと体中に広がってしまいます。一つでも見つけたら、すぐに病院へ行きましょう。医師と相談の上、いぼを取ったり、薬で治療したり、早急に対応するとお子さんへの負担も軽減されると思います。

おむつ皮膚炎（おむつかぶれ）

蒸れてふやけた皮膚が傷つき、炎症を起こすことです。股やお尻、陰部が真っ赤にただれ痛がります。外出先でも、こまめにおむつを替え、お尻を清潔に乾燥させた状態が保てるようにしておくといいですね。なかなか症状が改善されない場合は、カンジタ感染症も考えられるので、皮膚科を受診しましょう。カンジタは抗真菌薬を塗らないと治りません。

あせも

汗や汚れが汗の出口にたまり、汗腺をふさぎ、赤いブツブツが出て炎症が起こることを、あせもと言います。髪の毛の生え際、首、脇の下、膝裏など、汗のかきやすいところに出来やすく、痒みがひどくなり、掻いてしまうと傷から細菌が入り、化膿することもあります。汗をかいたらタオルで拭いたり、シャワーを浴びたりして清潔にしましょう。また、通気性、吸収性の良い服を選び、こまめに着替えるようにしましょう。



頭ジラミ

◇頭ジラミの成虫は2～4mmくらいの大きさで、人間の頭皮に寄生し頭皮から血を吸って、毛根近くに卵を産みます。一つの卵から一か月で約200匹ものペースで繁殖する為、早く見つけて駆除することが大切です。

★チェック方法

成虫は非常に動きが速く、見つけるのは難しいので、卵を探します。後頭部や耳の後ろあたりにあることが多いので、髪をかき分けて丹念に見てみましょう。白くて一見フケと区別が付きにくいのですが、ジラミの卵は、細長い楕円形をしていること、指を滑らせて取ろうとしてもなかなか取れないこと、爪で潰すとプチッと音がすることなどが特徴です。

★家庭での対処法

①毎日シャンプーを

大人が髪の根元までしっかりシャンプーします。感染したら2～3日に1回は家族全員「スミスリンシャンプー」を使います。

②布団などの寝具類は毎日干して

ジラミは40℃を越えると弱り、55℃で死滅するので布団乾燥機を使うのも良いでしょう。

③衣類や室内を清潔に

パジャマなどの衣類も、毎日取り替えましょう。また、掃除機をこまめにかけ、カーペットや布のソファ等は、ジラミが潜り込みやすいので、なるべく取り除きましょう。

④卵がないかチェックしよう

ジラミの卵は、薄暗い所や電灯の光などではよく見えません。日光の下でよく点検しましょう。



8月の健診のお知らせ

☆4か月児健診（受付 9:00～10:45）

火曜日：4. 18. 25日

☆1歳6か月児健診（受付 12:45～14:00）

水曜日：5. 19. 26日

☆3歳児健診（受付 12:45～14:00）

木曜日：6. 20. 27日

【場所】保健所・保健センター

（中野町字中原「ほいっふ」内）

【問合せ】☎39-9153（こども保健課）

※対象者の方には、ご自宅へ健診日1か月前に健診票を郵送します。ご案内の日時に健診を受けて下さい。変更する場合は必ず事前に連絡下さい。現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、健診対象年齢をずらしております。ご了承ください。

豊橋市保育課 こしかこども園 病児保育室
保健だより 2020年8月1日 ☎25-0528